

2023年度第2四半期 決算説明資料

2023年12月6日



株式会社 **中電工**

【説明者】 代表取締役社長 重藤 隆文

ご説明内容

1	2023年度第2四半期業績
2	2023年度の業績予想
3	中期経営計画2024〔2021～2024年度〕の取り組み
4	中電エグループ 2030ビジョン
5	参考情報（会社概要他）

1. 2023年度第2四半期業績

建設業界

- 公共設備投資は堅調に推移し、民間設備投資も持ち直しの動き
- ウクライナ情勢の長期化や為替の変動などにより、エネルギー価格や原材料価格が高止まり

当社グループの状況

- 迅速・果断な意思決定と業務執行を可能とするとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ることを目的に、監査等委員会設置会社に移行。
- 前年度末に大きな損失を計上した、台湾洋上風力発電事業からの撤退。

2023年度第2四半期業績（損益計算書:連結）

対前年度「増収・営業利益増益」

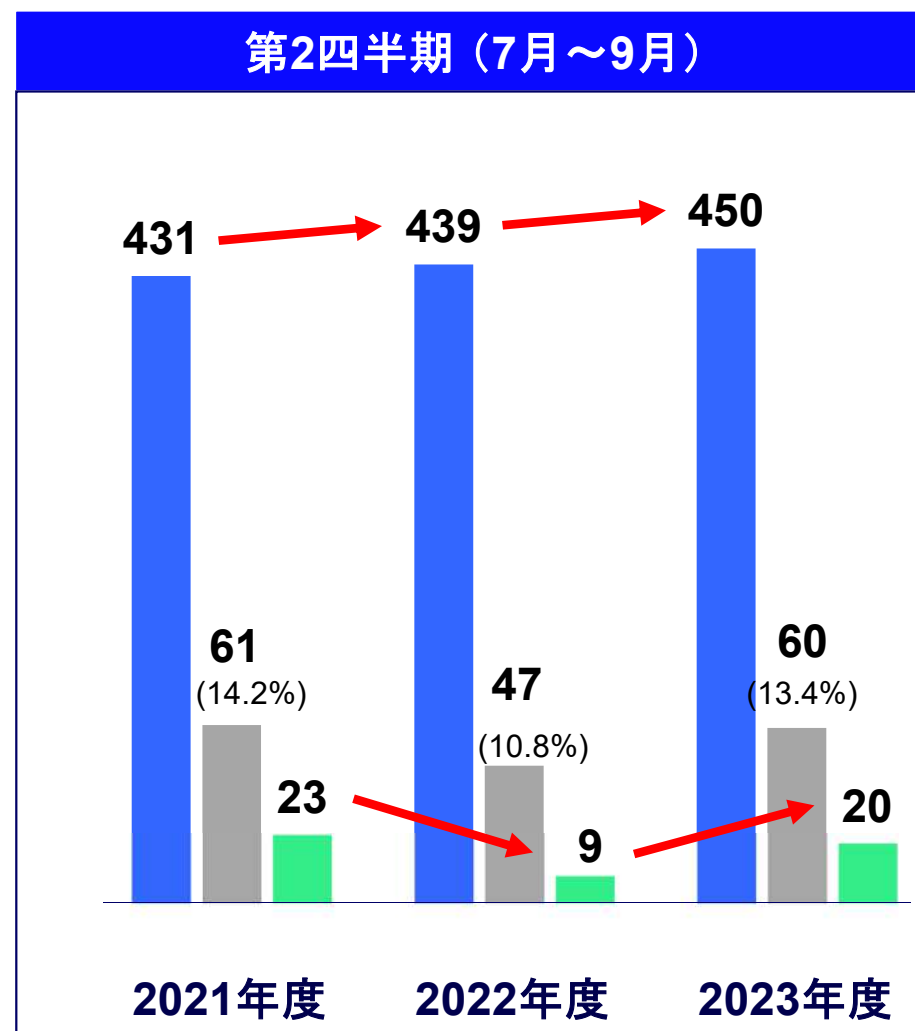
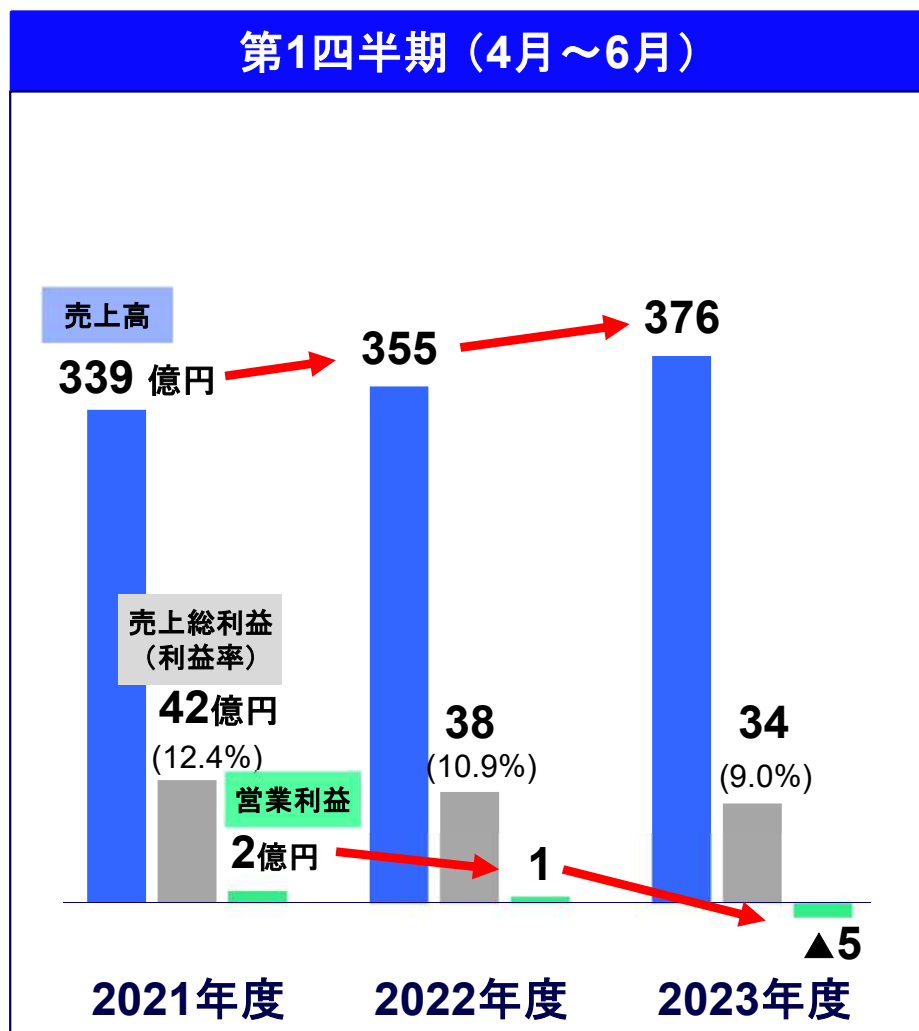
- 売上高は31億円増加（中電工個別+19億円、連結子会社+12億円）
- 営業利益は3億円増加（中電工個別+7億円、連結子会社▲3億円）

連 結 業 績	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減額	前年比
売 上 高	795億円	826	31	104%
売 上 原 価	708億円	732	24	103%
売上総利益	(10.9%) 86億円	(11.4%) 94	7	109%
販 管 費	75億円	79	3	105%
営 業 利 益	(1.4%) 10億円	(1.8%) 14	3	136%
経 常 利 益	(3.0%) 24億円	(1.8%) 14	▲9	60%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(1.6%) 13億円	(0.7%) 5	▲7	44%

※（ ）内は売上高利益率

2023年度第2四半期業績（四半期会計期間：連結）

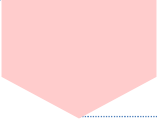
- 2023年度の第1四半期は業績の低下傾向が継続
- 第2四半期には改善の傾向



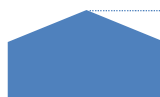
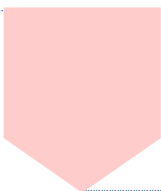
2023年度第2四半期業績（売上高の増減要因:連結）

売上高の前年同期比較の増減内訳(+31億円)									
中電工個別(+19億円)						連結子会社(+12億円)			
屋内電気	空調管	情報通信	配電線	送変電 地中線	中国地域 子会社 (7社)	都市圏 子会社 (3社)	海外 子会社 (4社)		
795億円 2022年度 第2四半期 売上高	+35億円 		+8億円 	+5億円 	+5億円 	+4億円 	▲0億円 	+8億円 	826億円 2023年度 第2四半期 売上高
	▲35億円								

2023年度第2四半期業績（営業利益の増減要因:連結）

営業利益の前年同期比較の増減内訳(+3億円)					
中電工個別(+7億円)		連結決算処理(▲3億円)			
部門別営業利益		連結子会社 営業利益	のれん償却等		
一般部門	電力部門				
10億円 2022年度 第2四半期 営業利益	+7億円 	+0億円 	▲3億円 	+0億円 	14億円 2023年度 第2四半期 営業利益

2023年度第2四半期業績（経常利益の増減要因:連結）

経常利益の前年同期比較の増減内訳(▲9億円)						
営業利益 (+3億円)	営業外損益(▲13億円)					
	営業外収益(▲5億円)		営業外費用(▲7億円)			
	為替差益	その他	為替差損	その他		
24億円 2022年度 第2四半期 経常利益	+3億円 	▲6億円 	+0億円 	▲6億円 	▲1億円 	14億円 2023年度 第2四半期 経常利益

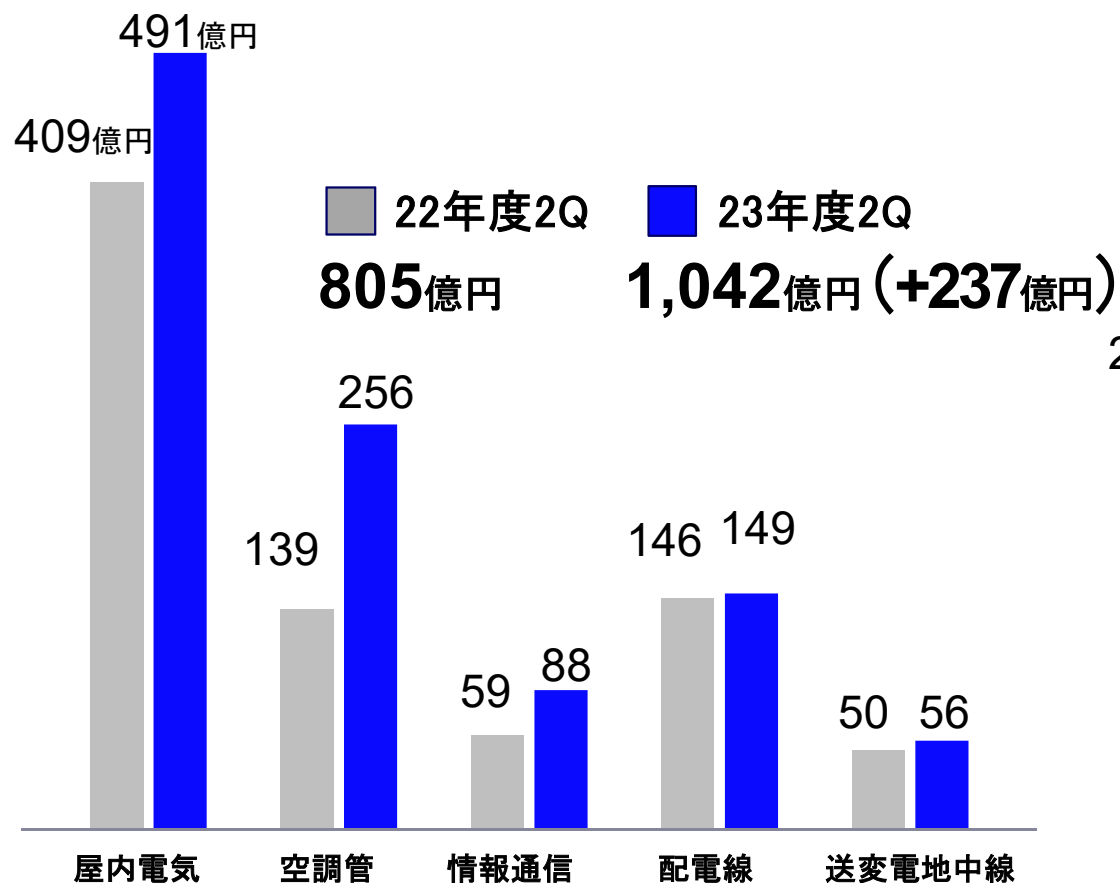
2023年度第2四半期業績（貸借対照表:連結）

		2023年3月末	2023年9月末	増 減	主な増減要因
	流動資産	1,189億円	1,036	▲153	完成工事未収入金等 ▲205
	固定資産	1,535億円	1,557	22	投資有価証券 30
資産合計		2,725億円	2,594	▲131	
	流動負債	473億円	397	▲76	工事未払金等 ▲70
	固定負債	230億円	157	▲73	持分法適用に伴う負債 ▲68
負債合計		704億円	554	▲149	
純資産合計		2,020億円	2,039	18	利益剰余金 ▲22 その他有価証券評価差額金 40
負債純資産合計		2,725億円	2,594	▲131	
自己資本比率		73.2%	77.6	4.4	

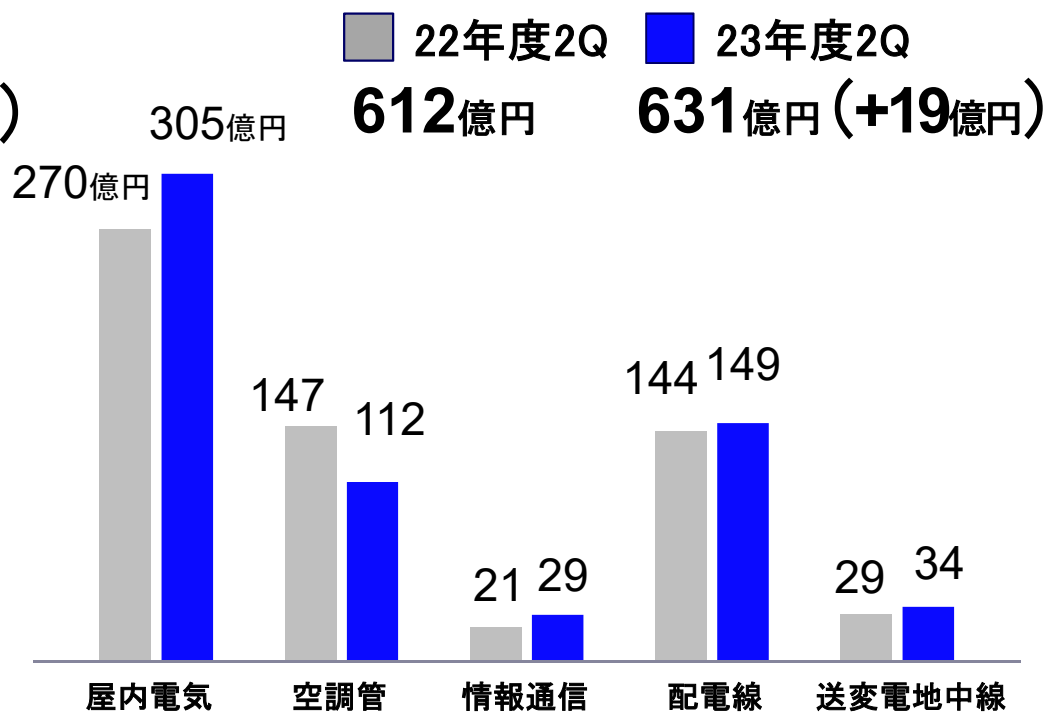
2023年度第2四半期業績（部門別受注高・売上高:個別）

- 受注高は1,042億円と対前年度237億円増（屋内電気・空調管を中心に増加）
- 売上高は631億円と対前年度19億円増（空調管は減少、屋内電気など増加）

受 注 高



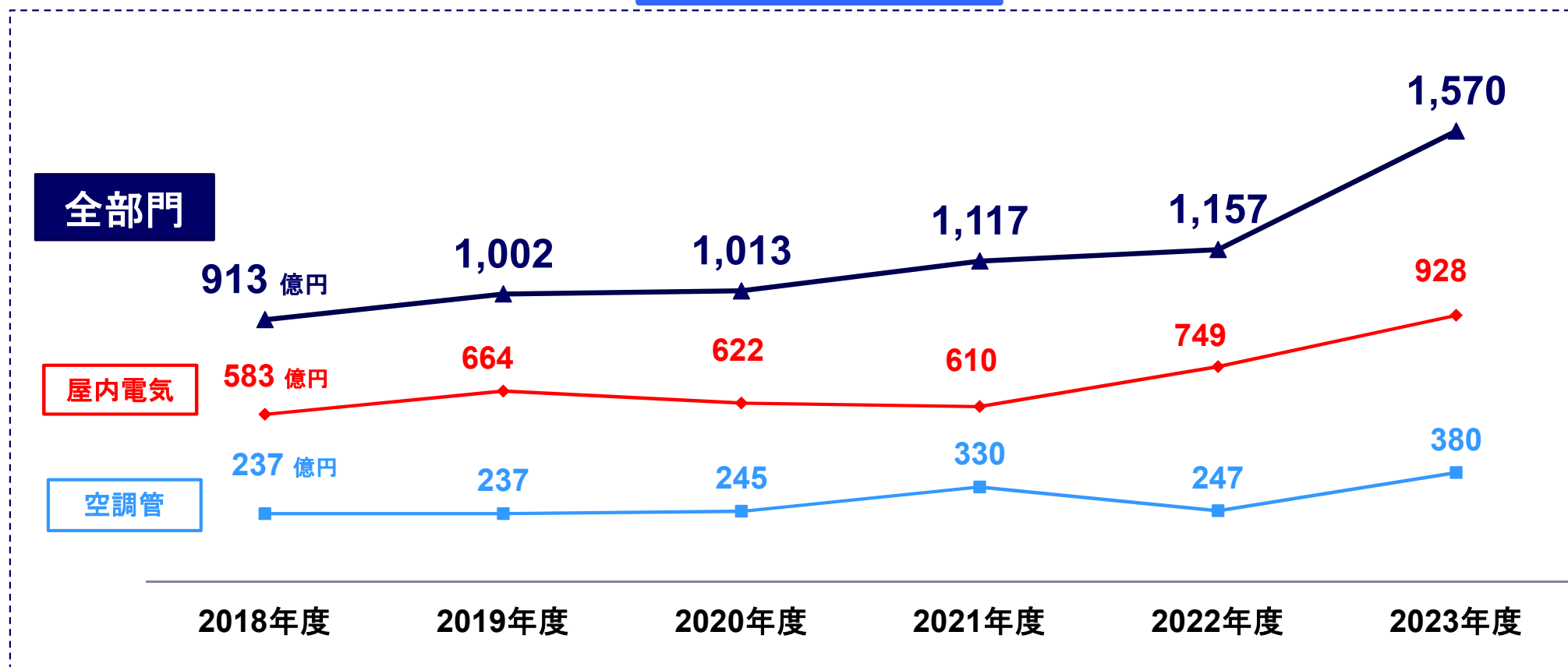
売 上 高



2023年度第2四半期業績（部門別繰越高：個別）

- 繰越高は、全体で1,570億円と対前年度413億円増
- 主な増加要因：屋内電気178億円増、空調管132億円増

繰 越 高



2. 2023年度業績予想

2023年度通期業績予想（損益計算書:連結）

対前年度「増収・増益」の見込み

- 売上高は159億円増加（中電工個別107億円増、連結子会社52億円増）
- 営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加などにより、21億円増加
- 経常利益と当期純利益は、営業利益の増加に加え、前年度計上した持分法による投資損失の反動減などにより、大幅に改善の見込み

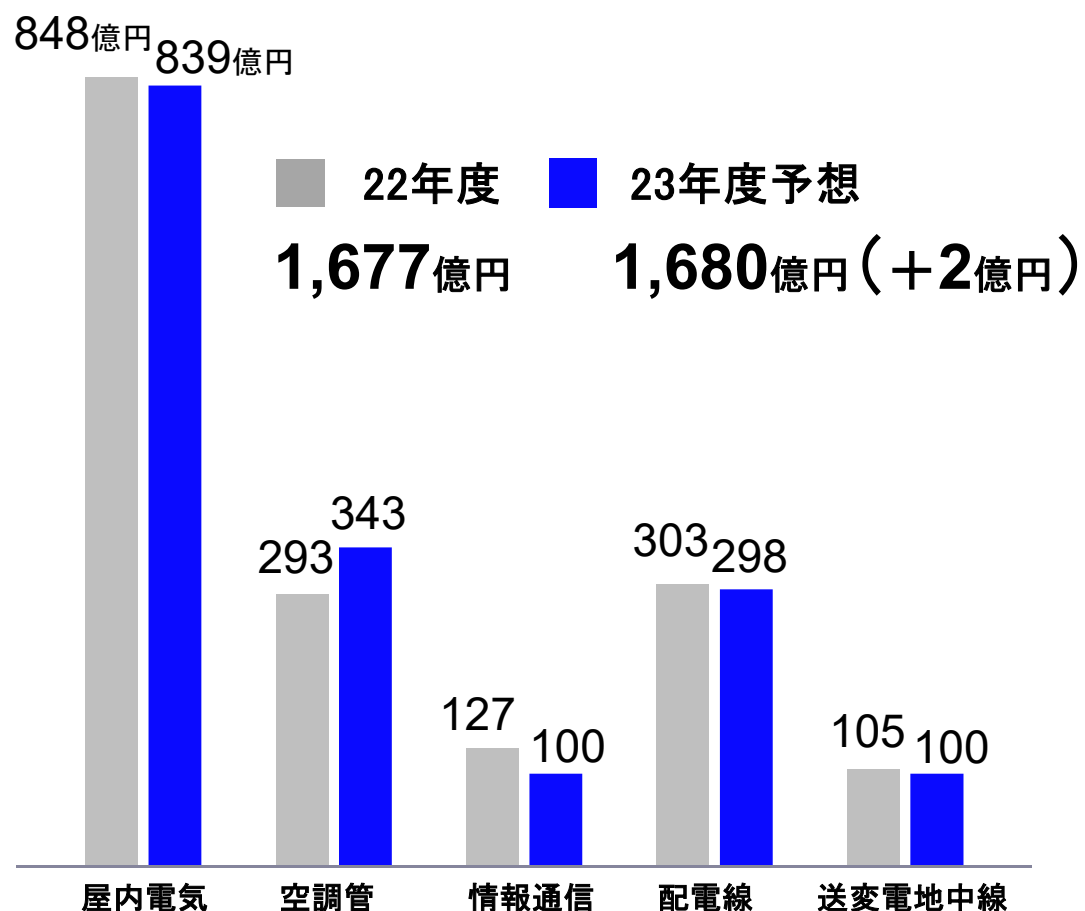
連 結 業 績	2022年度実績		2023年度予想		増減額	前年比
売 上 高		1,890億円		2,050	159	108%
営 業 利 益	(4.4%)	83億円	(5.1%)	105	21	126%
経 常 利 益	(▲1.0%)	▲19億円	(5.9%)	121	140	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	(▲3.7%)	▲69億円	(3.7%)	76	145	—

※（ ）内は売上高利益率

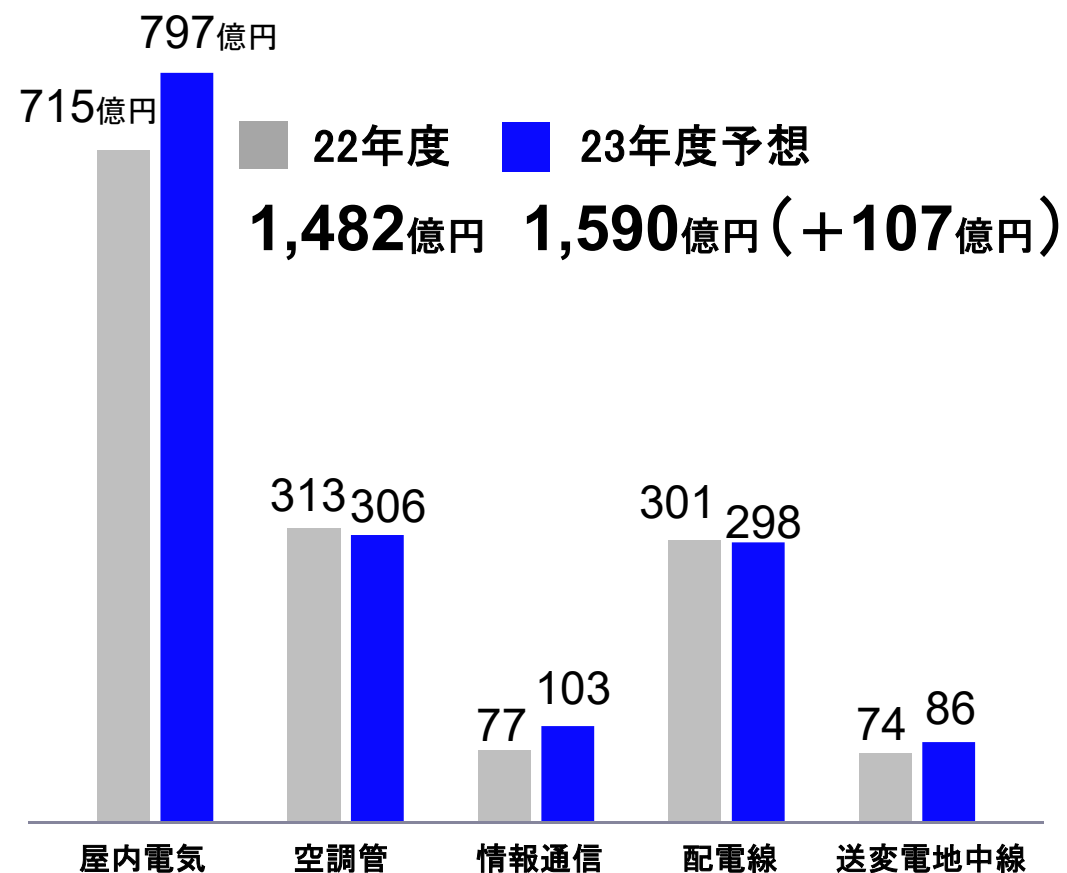
2023年度通期業績予想（部門別受注高・売上高:個別）

- 受注高は、1,680億円の見込み（空調管工事の増加）
- 売上高は、1,590億円の見込み（主に屋内電気と情報通信の増加）

受 注 高



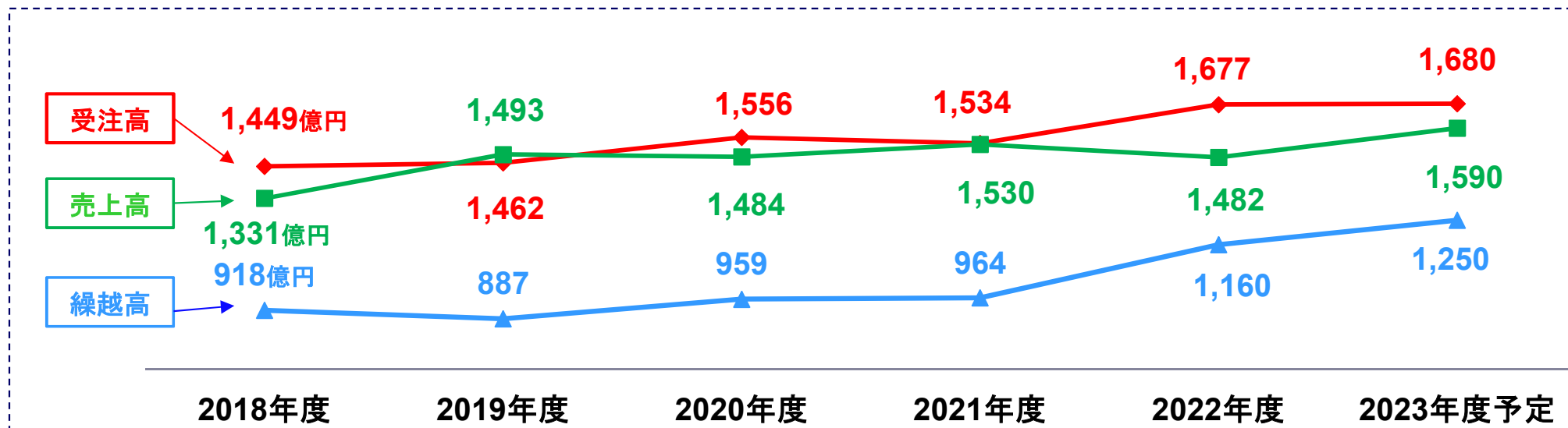
売 上 高



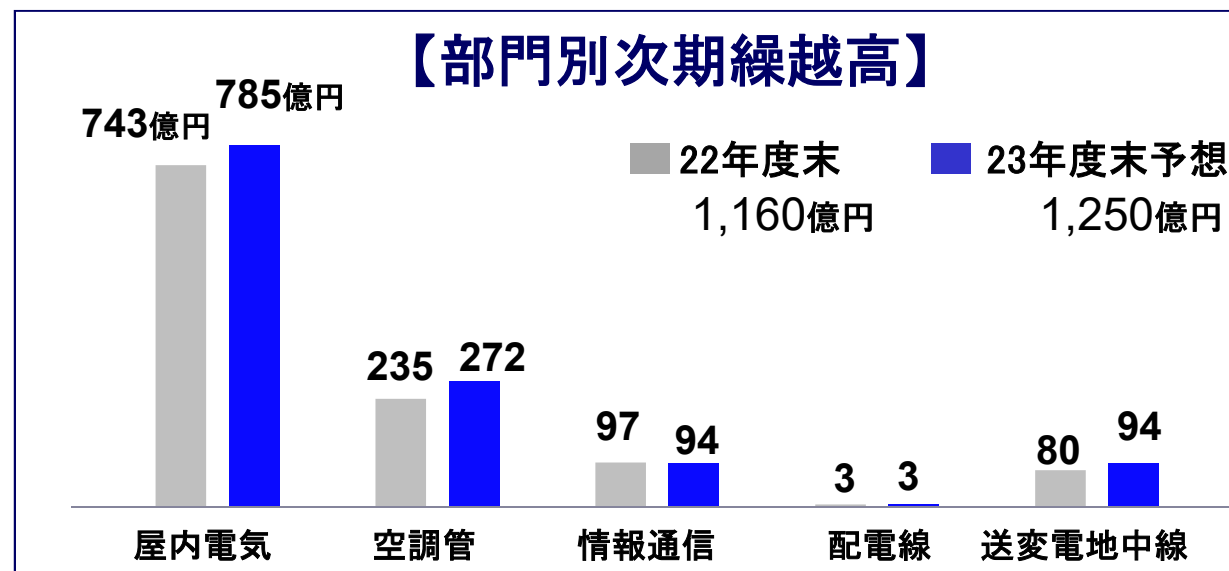
2023年度通期業績予想（受注高・売上高・繰越高：個別）

➤ 受注高と売上高がともに前年度を上回り、繰越高は過去最高を予想

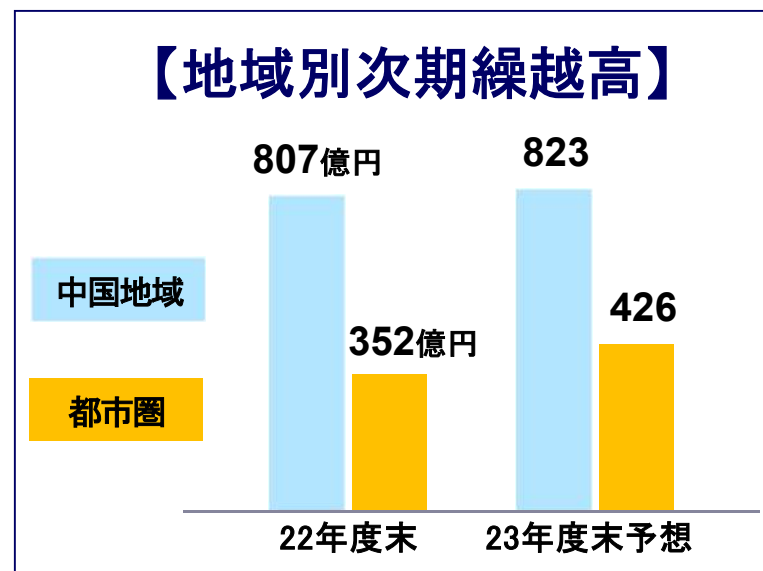
【受注高・売上高・繰越高の推移】



【部門別次期繰越高】



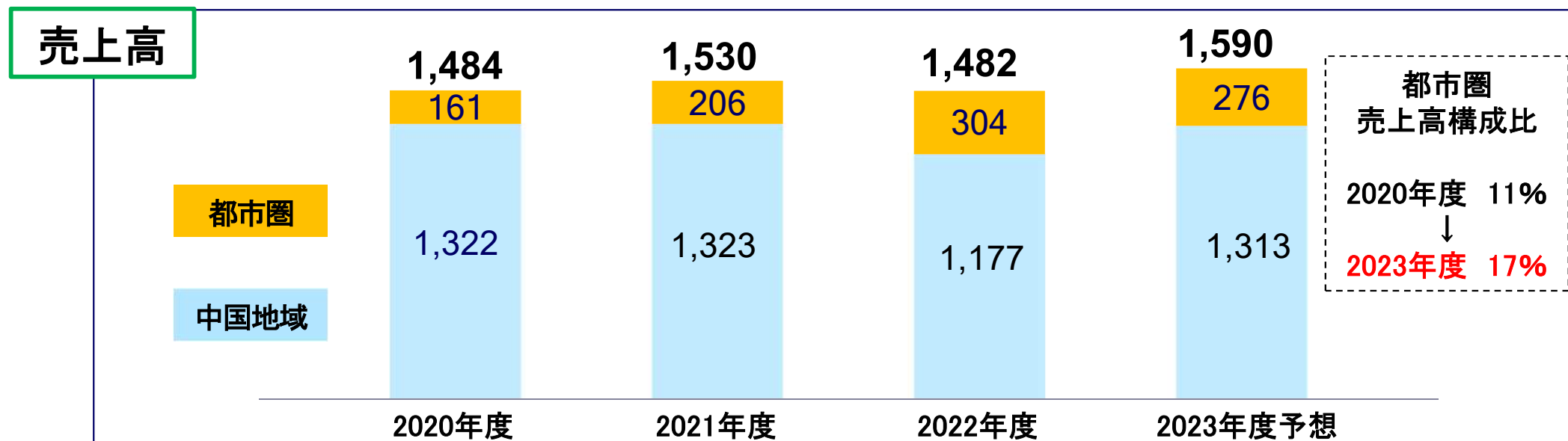
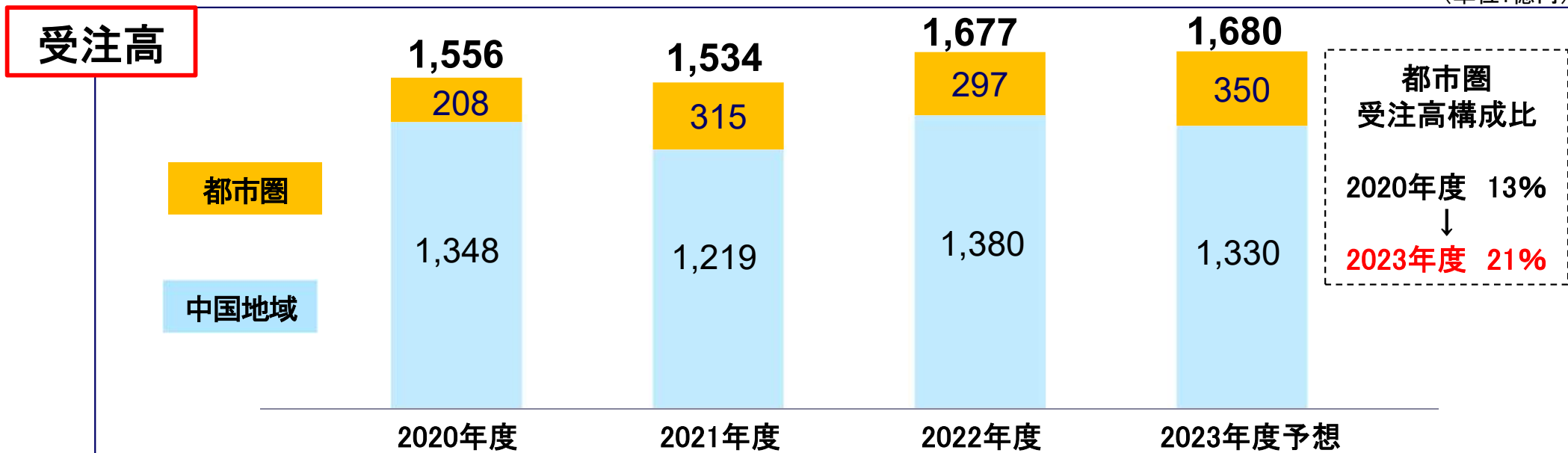
【地域別次期繰越高】



2023年度通期業績予想（地域別受注高・売上高：個別）

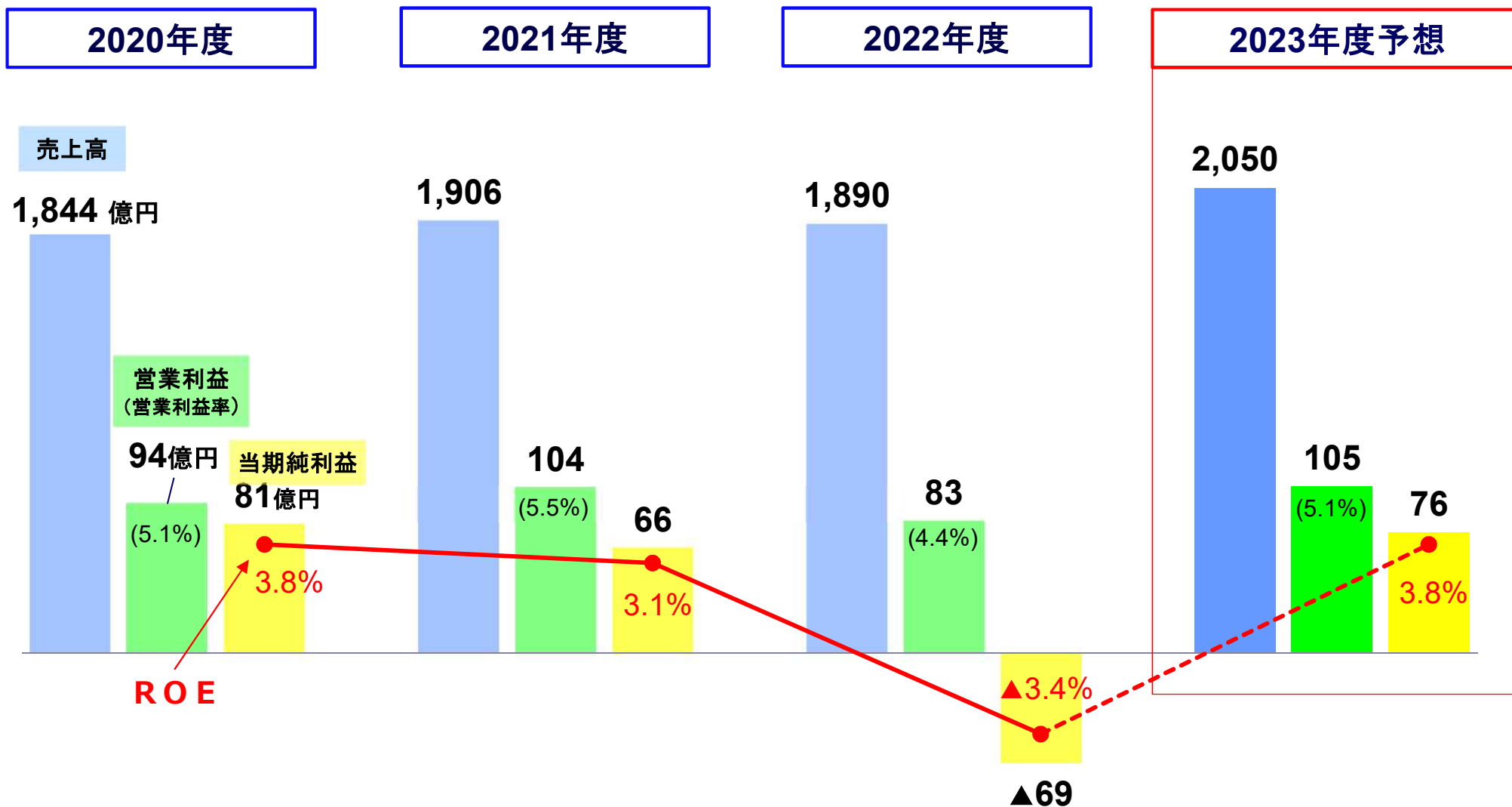
➤ 中国地域の売上を維持しつつ、都市圏を拡大

（単位：億円）



2023年度通期業績予想（主な経営指標の推移:連結）

- 売上高は増収、各利益についても増益の見込み
- ROEは当期純利益の計上により改善の見込み



3. 中期経営計画2024〔2021～2024年度〕

テーマ

「変革と成長」

- 当社グループが引き続き成長を続けていくためには、これまで以上に環境変化に迅速に対応して変革を進めることが不可欠

サブテーマ

「営業・施工体制の強化と利益の拡大」

- 中国地域の基盤強化、都市圏の体制強化・事業拡大
- 厳しい環境にあっても利益を確保・拡大できる体制の強化・競争力強化

「DXと脱炭素化の推進」

- DXによる生産性向上を推進
- SDGsやカーボンニュートラルへの対応
 - ・自社の脱炭素化
 - ・お客様への脱炭素化支援事業の推進（自家消費型太陽光PPA事業など）

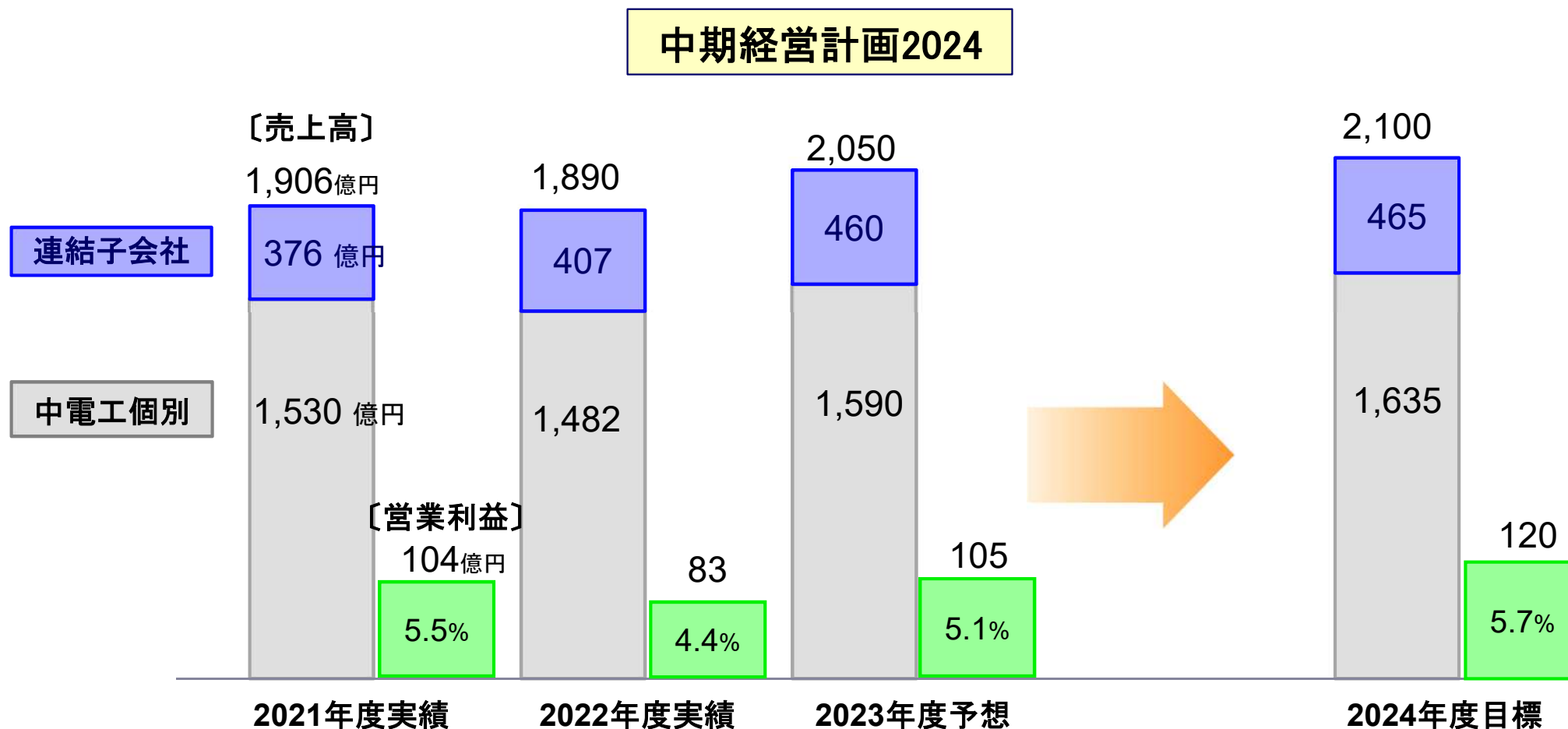
中期経営計画2024（主要施策）

受注の拡大・施工体制の強化	◆ 営業力の強化による受注拡大 ◆ 実績データの分析やBIM等を活用した設計力の強化・向上 ◆ 施工体制の強化・拡充 ◆ グループ企業との連携強化
利益の確保・拡大と競争力強化	◆ 工事の平準化やフロントローディング等による施工の効率化 ◆ 全社およびグループ企業と連携したコスト低減 ◆ DXの推進による生産性向上
人材育成の強化と働き方改革の推進	◆ 施工管理の強化に向けた人材育成 ◆ グループ全体での技術・技能者の確保・育成 ◆ 働き方改革の継続および実践、働きがいのある職場の形成
品質の向上	◆ 電力安定供給への確実な貢献 ◆ お客様満足度の向上
成長投資(M&A・出資等)による事業拡大	◆ 自社の脱炭素化 ・自社社屋への自家消費型太陽光発電設備の設置など ◆ 脱炭素化支援として環境関連ビジネスの推進 ・自家消費型太陽光PPA事業、ZEB化など ◆ 施工体制の強化等に向けたM&Aの推進 ◆ 技術研究開発の推進

中期経営計画2024（数値目標:連結）

➤「中期経営計画2024」を、グループ一体となって取り組む

⇒2024年度目標 売上高2,100億円、営業利益120億円



※ %は営業利益率

中期経営計画2024（人材戦略）

人材戦略・人的資本投資

求める人材像

人材育成方針

社内環境整備方針

人材開発研修計画

- ・若年層教育
- ・階層別研修
- ・専門スキル教育 他

若年者育成プログラム

育成日誌

施工管理職位制度

ブラザー制度

コンプライアンス

人事評価・処遇

要員計画

- ・新卒、キャリア採用
- ・障がい者雇用
- ・定期人事異動

資格取得祝金制度

福利厚生制度

安全衛生活動

従業員意識調査

働き方改革

健康経営

女性活躍推進

『社会の変化を柔軟に受け止め、
自ら率先して変革にチャレンジする人』

経営計画 業績目標の達成
中長期的な企業価値の向上

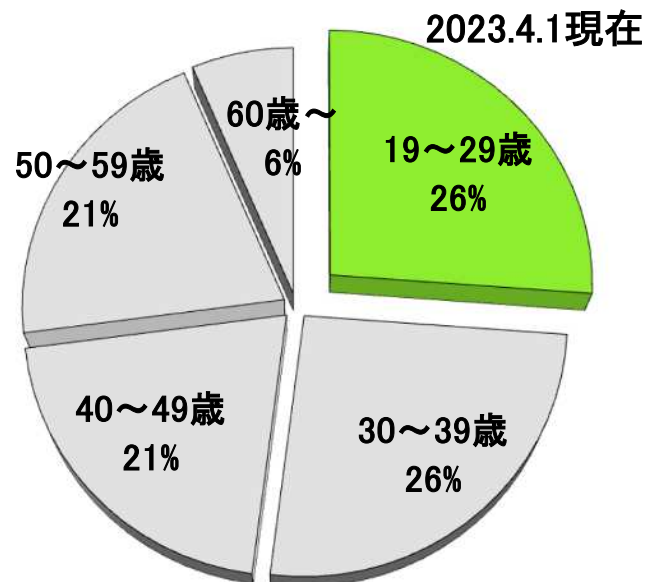
持続的な成長

中期経営計画2024（人材の確保・育成）

定期採用者数

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度予定
138名	135	116	135	140

年齢別構成(個別)



有資格者数

資格名	取得者数		
	18年10月	23年10月	増減
電気工事施工管理技士(1.2級)	1,037名	1,212	175
管工事施工管理技士(1.2級)	278名	306	28
技術士	54名	67	13

※施工管理技士(電気工事・管工事)の複数取得者 66名

30歳未満が3割弱

若年社員の成長

技術力・施工力UP

資本政策の具体策

1. 持続的な成長のための投資

事業の拡大や人材の確保・育成等、持続的成長に向け、400億円規模の投資

- コアおよびコア周辺事業等のM&A
- 人材育成・働き方改革
- 自社の脱炭素化
- 脱炭素化支援として環境関連ビジネスの推進
 - 自家消費型太陽光PPA事業、ESCO等の省エネ提案
 - 再エネへの投資
- 将来有望事業等への投資

2. 株主還元

- 持続的・安定的な配当を行うことを重視し、DOE（連結株主資本配当率）2.7%を目途に配当
- 経営環境を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式の取得を実施

中期経営計画2024（株主還元）

株主還元

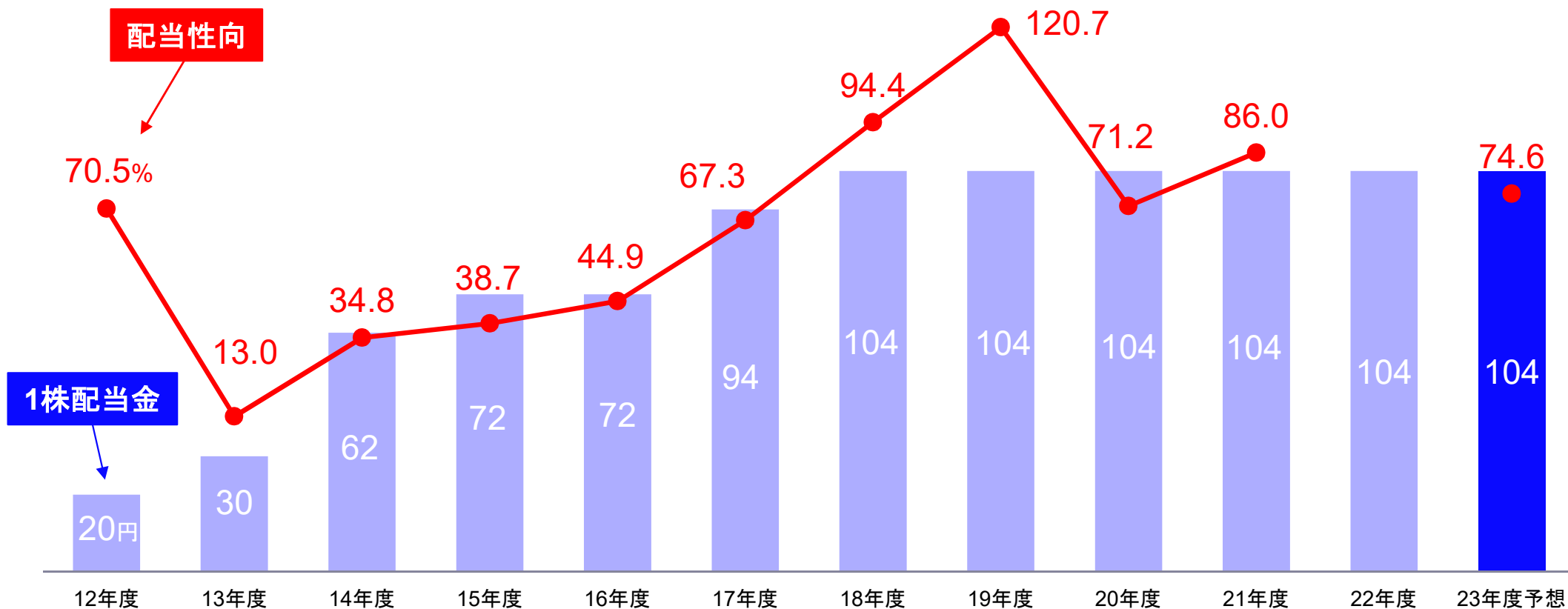
		2021年度 実 績	2022年度 実 績	2023年度 予 想
配 当 金	年間1株当たり配当金	104円	104円	104円
	D O E	2.75%	2.93%	2.89%
	連結配当性向	86.0%	—	74.6%
	連結総還元性向	106.1%	—	93.7%
自己株式取得	株 数	60万株	39万株	60万株
	金 額	13億円	8億円	14億円

〔【参考】 配当利回り 4.28%（2023年11月30日 終価 2,431円）〕

中期経営計画2024（配当金・配当性向）

➤ 2023年度もDOE2.7%を目処に年間1株当たり104円を予想

配当金・配当性向の推移



配当方針

【12年度】

安定配当
20円

【13年度】

業績連動
配当性向
30%

【14年度】

DOE
2.0%目処

【17年度】

DOE
2.5%目処

【18年度】

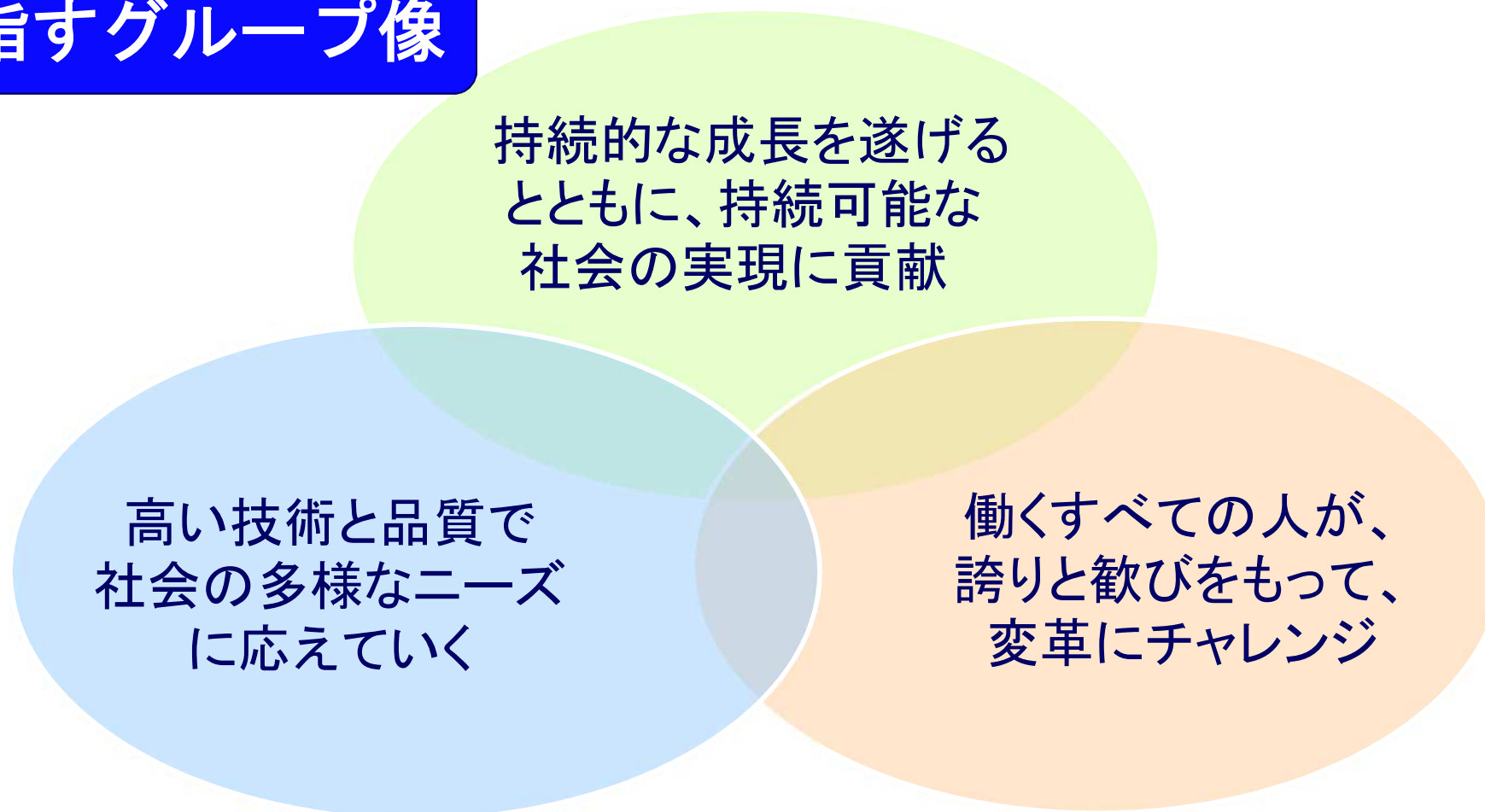
DOE
2.7%目処

4. 中電エグループ 2030ビジョン

テーマ

「変革と成長」 ～持続的な成長に向けて～

目指すグループ像

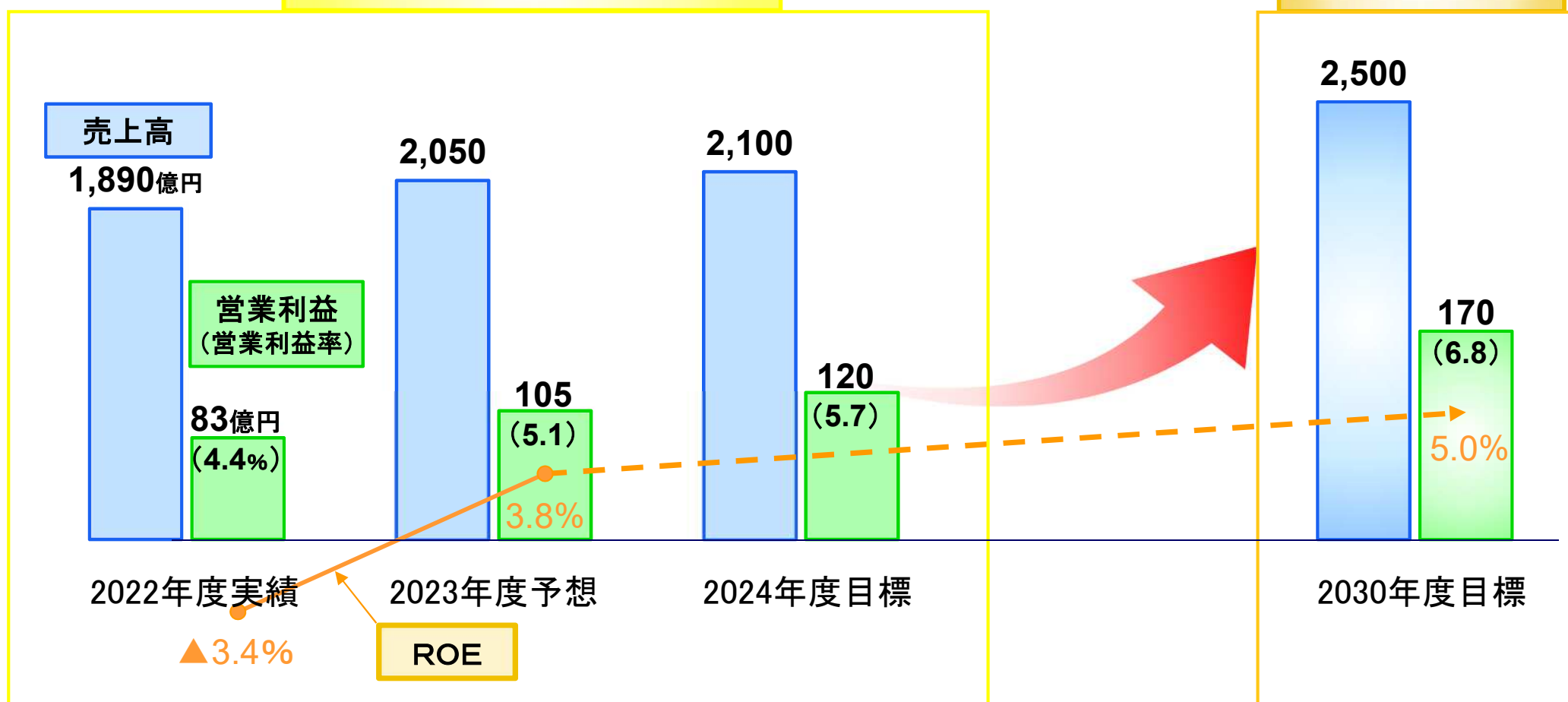


中電エグループ 2030ビジョン（目標）

- 連結業績 売上高:2,500億円 営業利益:170億円 ROE:5.0%以上
- カーボンニュートラルに向けたCO₂排出量の削減:46%以上(2013年度当社比)
- 多様な人材の活躍と多様な働き方を実現する環境づくり

中期経営計画2024

2030ビジョン



5. 参考情報

参考情報（中電工の概要）

会社名	株式会社 中電工		
代表者	代表取締役社長 重藤 隆文		
設 立	1944年9月（設立時：中国電気工事株式会社）		
資本金	34億8,190万円		
株式上場	東京証券取引所 プライム市場		
本店所在地	広島市		
連結対象企業	14社		
事業内容	総合設備工事業、電材販売、保険代理、リース業		
社員数	4,556名（連結）	3,364名（個別）	（2022年度末）
売上高	1,890億円（連結）	1,482億円（個別）	（2022年度）
総資産	2,725億円（連結）	2,487億円（個別）	（2022年度末）

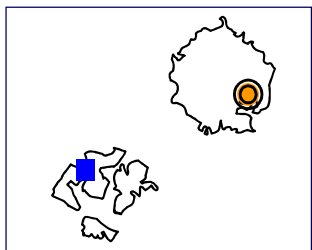


本店（中電工平和大通りビル）

参考情報（事業拠点：中国地域）

- 中国地域に9支社を中心に、67事業場を設置
- 効率的な施工体制を進め、緊急の即応体制も整備

中国地域の事業場数 67箇所
(2023年10月)



- 都市圏に本部・支社、海外は東南アジアに子会社を設置し、事業を拡大

【都市圏】



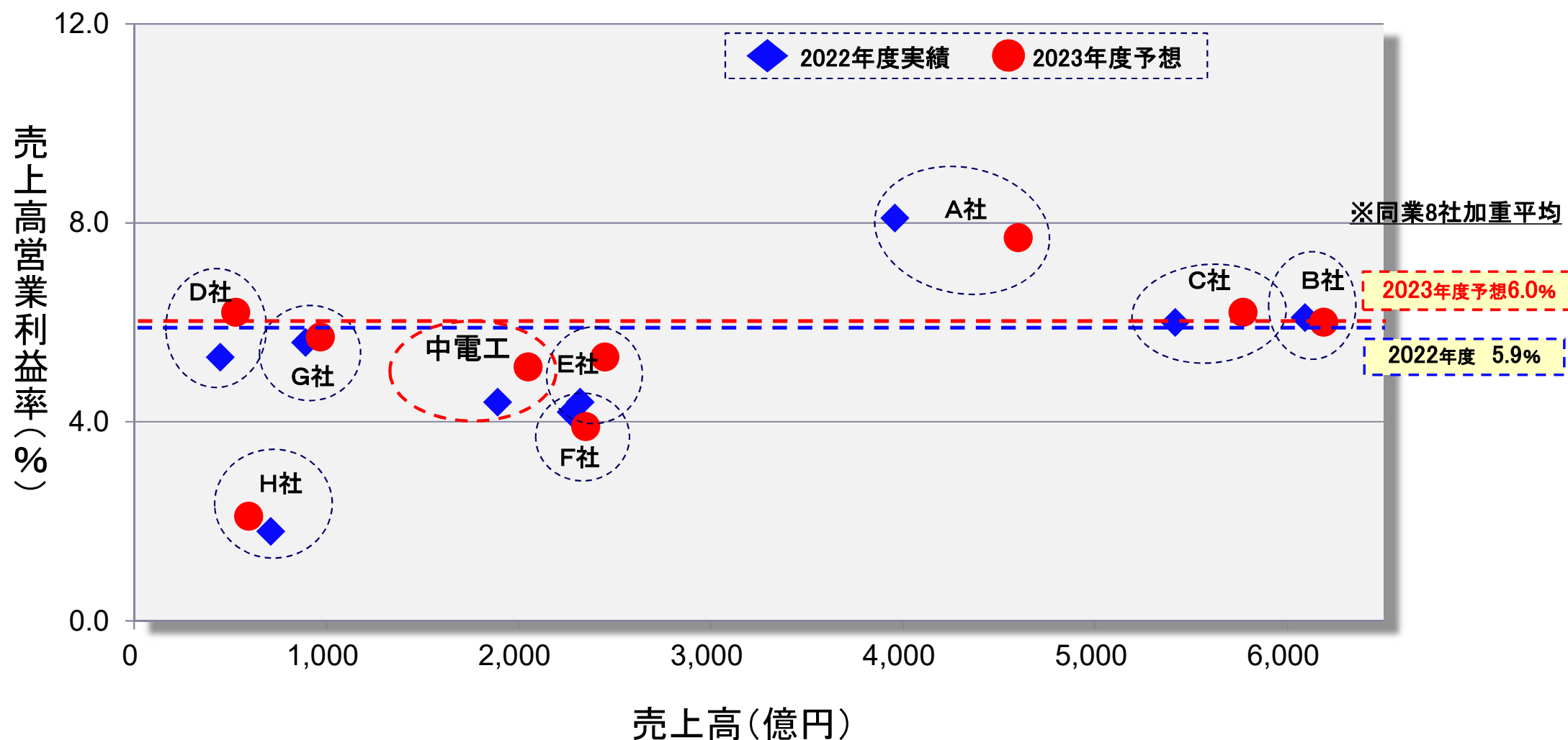
【海外】



参考情報（売上高と営業利益率の電力系同業他社比較:連結）

➤ 2023年度予想の営業利益率は5.1%で同業他社平均より低位置

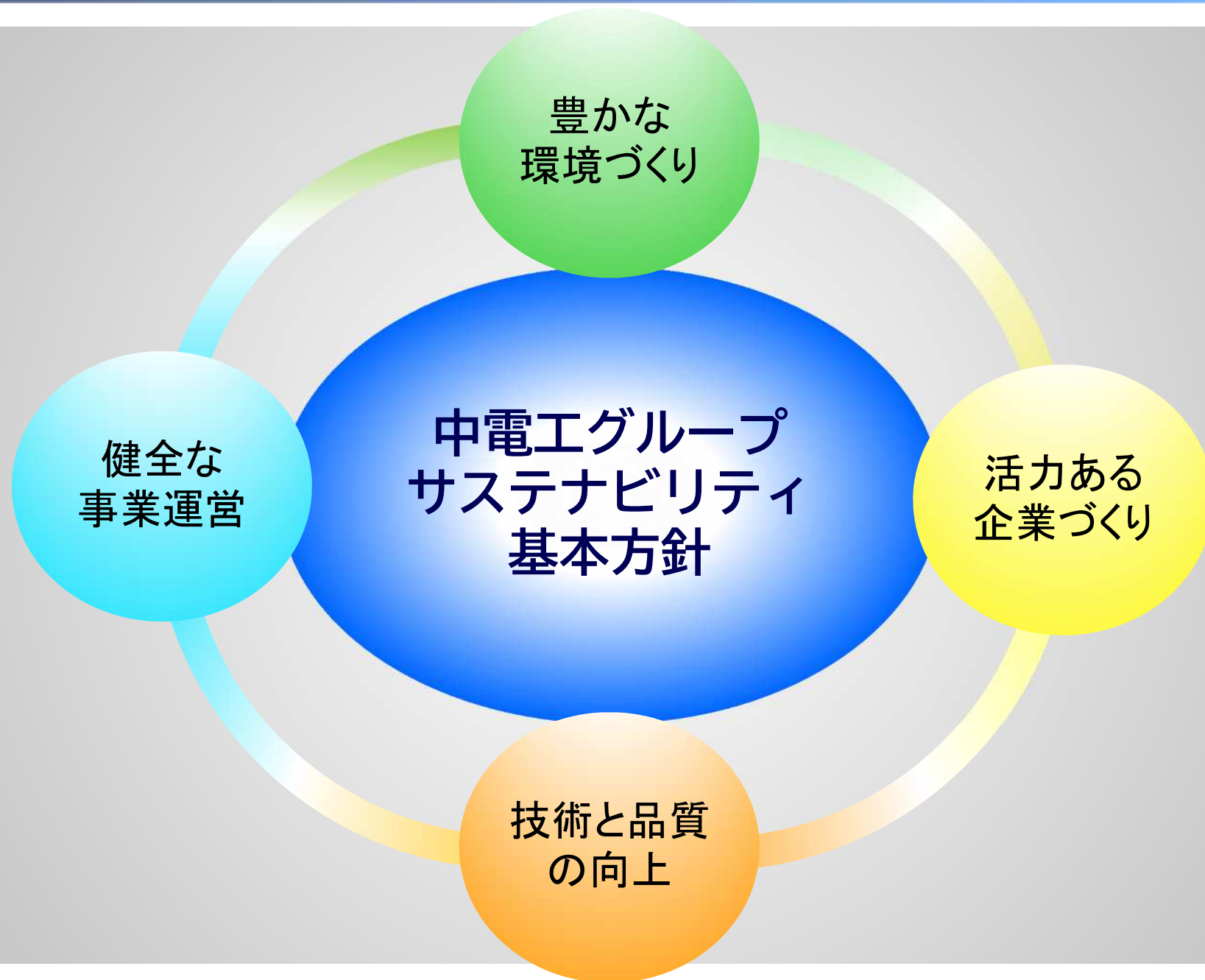
売上高と売上高営業利益率(2022年度実績・2023年度予想)



参考情報（中電エグループの概要）

＜連結子会社＞

会社名	住所	中電エの 議決権比率	主な事業
三親電材(株)	広島市	50.03%	電気機器・工事材料の販売、電気通信工事等の施工
中工開発(株)	広島市	100.0%	保険代理、リース
(株)イーベック広島	広島市	100.0%	電気・空調管工事等の設計・積算
(株)中電エテクノ	広島市	100.0%	配電線工事の施工
(株)中電エエレテック広島・島根	広島市	100.0%	電気工事等の設計・施工
(株)中電エエレテック岡山・鳥取	岡山市	100.0%	電気工事等の設計・施工
(株)中電エエレテック山口	山口市	100.0%	電気工事等の設計・施工
杉山管工設備(株)	横浜市	100.0%	空調管工事等の設計・施工
早水電機工業(株)	神戸市	100.0%	電気工事等の設計・施工
(株)昭和コーポレーション	東京都	100.0%	熱絶縁工事の設計・施工・監理、断熱配管支持金具の製造・販売
SHOWA VIETNAM CO., LTD.	ベトナム	100.0%	空調管資材等の輸出入・卸販売・小売販売、熱絶縁工事の設計・施工・監理
CHUDENKO(Malaysia)Sdn.Bhd.	マレーシア	100.0%	電気工事等の設計・施工
CHUDENKO ASIA Pte.Ltd.	シンガポール	100.0%	子会社の運営管理
RYB Engineering Pte.Ltd.	シンガポール	100.0%	電気工事等の設計・施工



参考情報 (SDGsへの取り組み)

SDGsで掲げる17の目標等を参照し、4つの課題を選定。

当社の事業活動を通じ、ステークホルダーの期待に応えていくとともに、SDGsの実現を目指す。

課 題	中期経営計画における取り組み
安全とコンプライアンスの徹底    	▶ 重大災害再発防止対策の実施状況の確認と基準ルールの徹底 ▶ 現場に即したリスク低減と不安全行動の排除 ▶ コンプライアンス意識の浸透に向けた教育の継続実施 ▶ 「心と体の健康管理」の充実 ▶ 新型コロナウイルス等の感染症予防対策の実施
安心・高品質な設備の提供     	▶ 高品質な電力設備工事および迅速な災害復旧対応 ▶ 地中線工事、自営線工事の取り組み強化 ▶ 工程内検査等の品質管理体制の充実・強化 ▶ お客さまとのコミュニケーションの充実による迅速できめ細やかな対応 ▶ DXの推進による生産性向上 ▶ 技術研究開発の促進
脱炭素社会の実現      	▶ 太陽光発電等の再エネ案件を中心とした環境関連ビジネスへの参画 ▶ 自家消費型太陽光PPA事業 ▶ ZEB・ESCO等、省エネ提案の取り組み強化 ▶ 自社での脱炭素の取り組み
人材育成と多様性社会の推進     	▶ グループ全体での技術・技能者の確保・人材育成の推進 ▶ 中電工協力会・グループ企業との連携強化 ▶ 中電工協力会会員への技術教育等のフォロー ▶ 働き方改革の継続および実践、働きがいのある職場の形成 ▶ ワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティの推進

将来見通しに関するご注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社 **中電工**

〒730-0855

広島市中区小網町6番12号

TEL: 082-233-9034

FAX: 082-234-8075

E-mail: kikaku@chudenko.co.jp

担当: 企画本部 経営企画部 (IR担当)